



学校だより

北門

【校訓】

誇りと責任

旭川市立北門中学校

NO. 12

平成30年3月23日

お世話になりました。

校長 岡本明彦

やわらかい日射しに春の訪れを感じるようになって来ました。さて、伊藤PTA会長をはじめ、校区の小学校・私立高校の校長先生、市民委員会会長様、地域や保護者の皆様に見守られ、第57回卒業証書授与式が無事に終了しました。150名の卒業生全員に卒業証書を渡すことができ、大変うれしく思います。卒業生の前途に幸多かれと祈りますと共に在校生の一層の成長に期待します。

57年の歴史を刻んできた北門中学校ですが、同窓会の主要なメンバーである1回生は70歳になられるそうです。1億総活躍時代ではまだまだ現役で頑張っておられる方たちばかりです。先輩方が支えてきた北門中学校の歴史を卒業生の皆さんや在校生は次の世代に伝えていく大きな役割を担っています。卒業式でお話をしたとおり、日本人としての誇りと責任をもって、夢を持ち国際社会に貢献できる人になって下さい。

卒業生には北門中学校がふるさとです。ふるさととは建物ではありません。心の中にあるものだと思います。親にもいえない悩みや相談事をした友だち、けんかをするこもあつたり、ほんの少しのすれ違いや誤解もあつたかもしれない。でも、一生の宝物です。

中学生の時期のほんの少しのささくれた気持ちから口ごたえをしたり、反発して言うことを聞かず迷惑をかけたとしても、わがままを聞いてくれた先生方、何よりも皆さんのことを愛し、見守ってくれた保護者の皆様、みんな「心のふるさと」です。

校長としての2年間勤務させていただきました。一人一人の子どもを大切に、真の学力をつけるために日々研鑽を積む熱い教師集団、教育活動を見守り支えていただいた保護者の皆様、協力を惜しまない地域の方々に支えていただき、自らの職責を果たすため努力をいたしました。今年度末で定年退職になります。お世話になりました。近文地区並びに北門中学校のますますのご発展をお祈りいたします。

第57回卒業証書授与式 ～150名の生徒が巣立ちました～

3月15日、PTA会長 伊藤仁奈様、各地区市民委員会会長様、校区内小学校長様など18名のご来賓にご臨席賜り、第57回卒業証書授与式を挙行了しました。

学校長式辞では、卒業生に、NHKの大河ドラマ「西郷どん」に出てくる鎖国中の日本の状況を元に、「自分の耳で聞き、目を見たことを信じて生きていく日本人であってほしい」ということ。また、今冬行われたピョンチャンオリンピックでのできごとを例に挙げ、「継続することの大切さを知る人になってほしい」というメッセージが送られました。

来賓祝辞では、PTA会長 伊藤仁奈様から、「自分と向き合うこと大切さ」や「かけがえのない命を大切にしてほしい」というメッセージが送られました。

在校生送辞，卒業生答辞，そして，在校生合唱「生命が羽ばたく時」，卒業生合唱「時をこえて」，全校合唱「旅立ちの日に」と式がすすむにつれ，感極まり目頭を押さえる生徒が見られました。

来賓の方々からは，お帰りの際に「素晴らしい卒業式でした。」「良い卒業式でした。」と声をかけられました。

前日には，同窓会事務局長 谷川 徹様をお迎えし，同窓会入会式を行いました。本年度卒業生150名の加入により，本校同窓会会員は15,660人となりました。

学校関係者評価委員会から

昨年12月に保護者・生徒アンケートを実施し，概略について，学校だより1月号でお知らせいたしました。学校においては，保護者・生徒のアンケート結果やみなさんの声を踏まえ，教職員自己評価を行いました。その後，学年・校務分掌・特別委員会で，今年度の教育活動を振り返り，成果や課題の分析，改善案を検討しました。

3月15日（木）には，保護者・生徒アンケートの結果，教職員自己評価の結果，今年度の教育活動の分析と次年度の改善案について，学校関係者評価委員の方々に説明し，評価・ご意見をいただきました。

以下に，学校関係者評価委員の方々からいただいたご意見を掲載いたします。

○学校がPlan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Action（改善）というPDCAサイクルのマネジメント手法により，学校改善の取組を行っていることは大切なことだと考える。

○今年度，PTAが中心となって，校内参観週間や学年懇談会など，保護者が学校に来る機会を増やす取組を行っているが，とても意義のある活動だと考える。しかし，なかなか足が向かない保護者に対してどのように働きかけていくのかが今後の課題だと思う。

○子どもたちの教育環境を少しでもよくするために，学校と家庭と地域が連携していく必要がある。

○スマホなどの情報モラル教育については，小学生段階からしっかりとした取組が必要である。また，保護者が責任をもって，使い方やルールについて子どもと向き合っていかなければならないと考える。

○今の子どもたちは，社会経験が圧倒的に少なくなっている。また，大人から評価を受ける機会もほとんどない。職場体験学習や地域学習など，外部（学校外）の人々との交流を通して，社会性や人間性を高めることが大切になってくると思う。

H 29年度北門中学校

学校関係者評価委員

○PTA会長

伊藤 仁奈 様

○学校評議員

大川 勝人 様

池田 佳史 様

佐々木 宏 様

柴 静香 様

第1学年保護者懇談会

2月22日（木）午後7時から，保護者，先生方を合わせて50名近くの参加者が集まり，「第1学年PTA保護者懇談」を開催しました。

当日は，伊藤PTA会長さんの挨拶，西川先生から近況報告を受けた後，4つの小グループに分かれて，「家庭でのコミュニケーション，どうしていますか？」というテーマの下で情報交流等を行いました。スマホの使い方に関する事，学校内のできごとについて，子どもたちの様子についてなど，多くの話題について，限られた時間内ではありましたが話し合うことができました。

最後に教頭先生と第1学年部の高橋部長さんから，全体のまとめと感想を発表しました。

これからも保護者間のつながりを大切にしながら，子供たちを応援していくことができると考えています。参加していただきました保護者の皆様，また，お忙しい中，準備を進めていただいた学年部+本部の役員の皆様，本当にありがとうございました。

